

2011年
秋号

No.11

北九州市議会議員

大久保むが 市政レポート

大久保むが市政相談所 〒807-0831 北九州市八幡西区則松2-9-2
Tel 093-863-5530 Fax 093-863-5531 <http://www.mugamuga.net/>



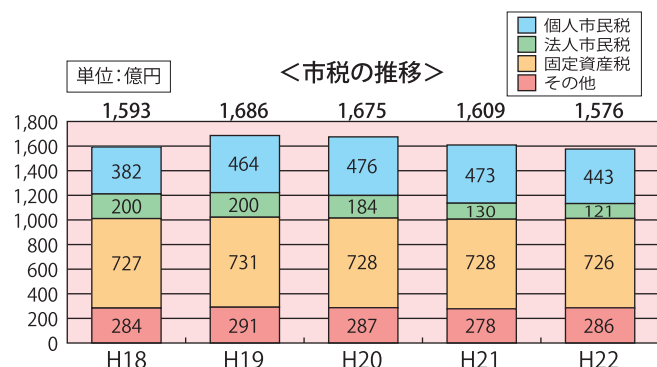
平成23年9月 決算議会

平成22年の決算を審議する、平成23年度9月議会が開かれました。

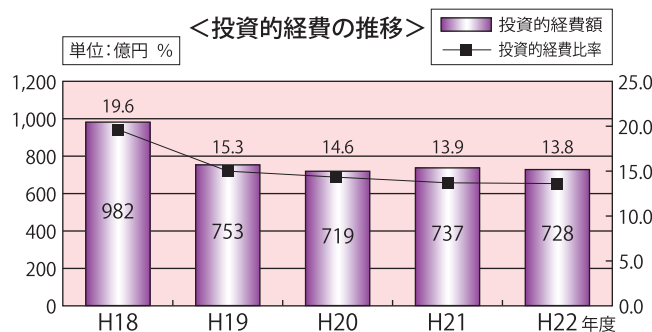
平成22年度の歳出総額は、一般会計で5,286億8,627万円となりました。

歳入の根幹となる市税収入は、1,575億8,800万円(前年比マイナス33億600万円)で、3年連続の減収となりました。

そのうち個人市民税が443億1,200万円(前年比マイナス29億7,900)、法人市民税も121億3,000万円(前年比マイナス8億6,500万円)といずれも減少しました。



義務的経費は扶助費の増加により2,521億39百万円で過去最高となり、投資的経費は727億円で前年度と同水準となりました。



また、平成22年は北橋市長の1期目の最終年度となったことから、市長選挙に掲げた Manifesto の総仕上げとなり、その成果が問われる年度となりました。

22年度はこの Manifesto 予算として320億円が確保され、「4年間で800億円」を目指した Manifesto 関連事業費は総額で912億円を確保することができ、ほぼ全ての事業を着手または実行することができました。

財政改革

自主財源の弱い本市にとって、安定した財源の確保、不要不急な事業の見直しは急務といえます。先述したとおり、自主財源の柱となる市税収入は減少傾向にあり、大きな回復は簡単に見込めないことから、更に積極的な構造改革を行わなければなりません。

こうしたことから、本市は北九州市行財政改革有識者会議を立ち上げ、行政運営が効率的・効果的に行われているかを今一度総点検し、今後の行財政改革

の方針を定めることとしています。

一方議会では、平成22年度に行われた本市の行政評価シートを活用し、事業の目標設定や進捗状況、達成度などを議会の場からも質することができるようになりました。行政評価は、行政評価シートに事業の目的や進捗、達成度や内部の評価、さらに予算などが一目瞭然と書き込まれており、評価に応じてABCなどのランク付けされています。

これまで具体的に示されてこなかった事業の全体像が分るようになり、事

業に対するチェックが更にやり易くなると考えられます。

今後は、この行政評価シートを活用しながら、これをより一層の行財政の改善に結び付けていきたいと思ひます。



市長質疑にのぞむ 黒崎副都心について

Q 八幡西区の黒崎地区の中心市街地活性化基本計画(中活)は、小倉地区とともに平成20年7月9日付けで国からの認定を受け、これまで56の事業が計画、実行されてきました。

この計画は平成24年が最終年度であり、中間年にあたる平成22年度の進捗度合いによっては、その成否は大きく変わってくると考えられます。

そこで、平成22年度における黒崎地区の中心市街地活性化基本計画の取り組みの成果と、今後の考え方について、見解を伺います。

A 黒崎地区中心市街地活性化基本計画では、活性化の目標に集客と回遊性の強化、定住人口の増進、商業活性化を掲げ、官民連携してハードソフトにわたる各種の事業に取り組んでおります。

22年度は、都市環境整備として、広い歩道を備えたふれあい通りの整備、地元のアイディアを活かした台所通り、蛸原公園の整備、文化交流拠点地区の着手、中心市街地共同住宅供給事業による認定第2号の賃貸マンションの完成・入居、また商業の活性化としては、若手商業者の育成拠点となるスイーツの駅「96カフェ」の運営、空き店舗を活用して商業者の育成を行う、商業ベンチャー育成事業による5つの店舗の新規開業など、積極的に取り組んでまいりました。

これらを含め22年度末で、全体の56の事業のうち約9割にあたる50の事業に着手しております。

22年度までの取り組みの成果としまして、基本計画で定めている数値目標のうち居住人口、空き店舗率については19年に比べ改善してき

ております。

基本計画も残すところ1年半となっております。今後さらに新たな賑わいの核となるコムシティ再生の早期実現、文化交流拠点地区の来年夏のオープンに向けて積極的に取り組み、ふれあい通りなどの回遊整備なども確実にすすめてまいります。

地域と一丸となって中心市街地の活性化に全力で取り組んでまいります。

Q 例えば駅の乗降客数にしても、歩行者の通行量にしても、小売業の年間商品販売額にしても、やはりどれだけの人がそこにいるかという事はいうまでもないのですが、歩行者の通行する量が増えなければ当然消費額も伸びないと思います。

人を増やすのはそこに住む人を増やしていくか、そこに来ざるを得ない用事があるか、ということになると思います。

中心市街地の活性化で様々な数値目標を挙げられていますが、住宅環境の整備を重点的に進めることが、目標値の達成だけではなく、中心地活性化の近道だと考えますが、市長はどのようにお考えでしょうか。

もう1つ、そこに来ざるを得ない用事といたしましたが、先日の決算特別委員会での審議の中で、コムシティへ「ゴールド免許センター」の

誘致の可能性を質問致しましたが、これはかなり多くの市民の利便性の向上に資すると同時に、広域からの集客に寄与するものと考えます。

新聞でも「コムシティに誘致を検討」との報道もされましたが、これについて、市長はどのようにお考えでしょうか？

A 黒崎地区の居住人口ですが、この間まちなか居住をすすめるために、特に中活の中で予算を確保して特別に黒崎だけは補助をだしています。そうやって街なか居住をすすめるようということで、頑張っています。

町内ごとにみていきますと、人口は増加傾向になっていると思います。また交通の便が非常にいいということ、クリニック、病院が集積しているのもありますし、買い物も便利です。時代とともにコンパクトな街に住むという意味では住む所で非常に快適だという評価もあって、街中居住というのは非常に重要だと思います。それらは商店街の活性化にも直結していきます。

黒崎の小学校や中学校は非常にすばらしい学校であります。その伝統の上に最高の教育をしてほしいなど、そしたらもっとも街なか居住が進むのではないかなと願望をもって見守っていきたく思います。

それから、「ゴールド免許センター」の件につきましては、市民の方にとっては大変利便性のいいことでありまして、そういうサービスができれば、これにこしたことはございません。年に1回、北州会、地元選出の超党派の県会議員の皆様方と市役所の政策打ち合わせ会がございま



して、その席上にも要望事項にさせていただきます。

これは県警や県の予算ということにもなりますので、今後よくお願いをしていきたいと思っています。



※ゴールド免許センター

渡辺通優良運転者免許更新センター（ゴールド免許センター）は5年間無事故無違反の優良運転者が対象で、免許の更新時などに更手続きが短縮される。高齢者講習等を既に受講されている方も対象に含まれ、福岡県内で唯一、福岡市中央区渡辺通りに設置されている。

県のゴールド免許センター コムシティに誘致検討 北九州市

北九州市は15日、元復興の集客や利便性などの効果商業施設「コムシティ」果を調査した上で、設置（八幡西区）への入居施設費用を支出する県に打診設について、優良運転者費用を支出する県に打診設の免許を更新する「コム別委員会」大久保無我議員（ハートフル北九州）「ゴールド免許センター」の誘致を検討する旨を明らかにした。設置した場合「ゴールド免許センター」は、県内に住む5年間無事故無違反の運転者が利用でき、免許更新の手続き時間が約30分に短縮される。県内では福岡市中央区渡辺通に1カ所だけあり、1日平均約3000人利用するといわれる。県内では福岡市中心部はコムシティの商業フロアの運営形態について、民間業者がフロアを一括して貸し、入居テナントの選定も民間に任せ「一括賃貸」などを検討していることも明らかにした。

（岡部由佳里）

決算特別委員会での質疑が新聞にも取り上げられました。

9月15日に行われた決算特別委員会で行われた、この「ゴールド免許センター」についての質疑が、新聞でも取り上げられました。

福岡市ではこの施設に1日に約300～400人が訪れ、年間にして9万人が訪れるそうです。コムシティへの誘致を検討している旨の回答が当局側からありました。広域からの集客、市民のサービス向上に大きく寄与できる施設と考えますので、当局の積極的な誘致活動を支援していきたいと思っています。

(2011年9月16日 西日本新聞)

「議会基本条例」を制定

北九州市議会は9月議会の最終日、「議会基本条例」を全会一致で可決成立しました。

この「議会基本条例」は、議会と執行機関、更に議会と市民との関係性を明確にし、議会や議員の活動原則を明らかにするものとして、これまで本市議会内で議論が続けられ、この条例の制定に至りました。

また、議会や議会事務局機能の強化を図り、議会の機能である執行機関の事務執行の監視、評価に加え、これまで弱いとされてきた政策立案や政策提言などを積極的に行うことができるように強化していくことなどが盛り込まれています。

議会の役割を明確化

二元代表制の一翼を担う議会は、市長を頂点にした市役所・市執行

部が行っている日々の行政活動に、市民の代表としてその声を市政の中で反映させていく立場であると考えます。これまではある意味チェック機関としての議会という役割が大きく、もうひとつの機能である制度や条例などの制定を行う機関としての位置づけが極めて不明確なままでした。

こうしたことから、本市議会及び本市議会議員としての役割をこの基本理念に基づき、分かりやすく明文化することになりました。

特別委員会

北九州市議会には6つの常任委員会があります。

これまではこの6つの常任委員会に加え、5つの特別委員会がありました。議会改革の一環でまずこの

重複する調査内容がある特別委員会を平成23年度から見直すこととし、現在ではこの特別委員会は設置をされていません。

今後この特別委員会の設置にあたっては、目的などを考慮し、より専門性の高い調査研究機関として、その時々必要性に応じて設置されていくことになると思います。

議会報告会を実施

市民により開かれた議会、市民により近い議会とするために、本市議会では議会報告会を開くことになりました。今後市内各地で、予算・決算などの議会終了後に開催を予定しております。



視 察 報 告

7/26

京都市消防活動総合センター



京都市消防活動総合センターは、京都駅から車で約10分ほど南西に走ったところにあり、敷地面積は33,757.63㎡ある大規模な訓練センターです。

施設は研修棟に加え、水深10mの深さを備えた潜水訓練用のプール、川などでの災害の際での救助訓練などが可能な流水プールなどが整備されています。

また、市街地での消火活動を想定した区画も整備されています。これは、それぞれの家を可動式にし、京都の下町を模した街区を作ることで様々な状況下での訓練を行うものです。さら

にはマンション内部での救出訓練、煙の動きを体感できるものや、コンクリートの破壊、瓦礫からの救出など、阪神大震災での教訓を活かした施設になっていると感じました。

またこの施設は実際に災害が発生した際には避難所や対策を立てる指令センターとしての機能も備わっているとのことでした。

これほどの規模をもつ訓練施設は、全国的にも珍しく、消防署の職員や団員の防災対応力の向上が図られ、見学者など多くの市民が訪れることで、市民意識の向上にも大きな影響を与えると考えます。

このような施設を本市でも設置できることが理想ではありますが、広域での防災訓練ができる施設などの設置ができないのか、地元の県議などにも情報交換を行いながら可能性を探っていこうと思います。



キタQに
総我夢中!!

No.11
自転車大会にトライの巻

バイクのイメージがありますか

僕は今、自転車大会にむけてトレーニング中です。

結構自信を持っています。

体力や足の筋力には

が、しかし!

高校時代はラグビー部でした。

ええまあ何とかあれからすでに20年...

大丈夫?

平成23年 7・8・9月の活動記録

<7月>

- 2日 視覚障害者のためのパソコンソフト勉強会
- 4日 関門地域共同研究会 成果報告会
- 6~8日 総務財政委員会 行政視察
鹿児島・沖縄
- 10~13日 台湾・高雄市訪問・視察
- 14日 北九州市漫画ミュージアム
サポーターズミーティング
- 15~17日 東京財団事業仕分け勉強会(東京)
- 20日 築地工業団地環境部会
会派団会議
- 21日 北九州市NPO協働事業成果報告会
- 22日 福岡市照葉小学校視察
山口工場萌えツアー
- 25日 民主党政令市協議会研修会(京都)
京都市マンガミュージアム視察
- 26日 京都市消防防災センター視察
- 27日 北九州市議会政策立案支援事業に係る講演会
- 28日 八幡西区議員協議会
- 29日 総務財政委員会
- 30日 KID's Work 馬島キャンプ手伝い
- 31日 民主党福岡9区総支部常任幹事会
北九州市議会基本条例市民説明会

<8月>

- 1日 KID's Work 馬島キャンプ手伝い
- 2日 九州各市議会対抗野球大会
- 5日 台湾・高雄市訪問成果を北橋市長へ報告
- 6日 暴力団追放パレード(小倉北区)
- 7日 わっしょい百万夏祭り・総踊り
- 9日 民主党福岡9区規約改定委員会
北九州市まちづくり懇親会
- 10日 北九州市50周年記念事業検討会
- 11日 博多阪急 子どものフロア視察
- 13日 北筑高校野球部OB戦を観戦
- 14日 若松高塔山JAM 手伝い
- 16日 八幡西区議員協議会 市長との意見交換会
- 17日 総務財政委員会
- 18日 暴力団追放パレード(メディアドーム)
- 20日 障がい者作業所MY夢「夢展」
民主党福岡9区総支部常任幹事会
浅川学園台 夏祭り
- 22日 会派団会議
- 24日 第二回 北九州市住居表示審議会
- 26日 9月議会勉強会
- 27日 東京財団 事業仕分け勉強会
- 28日 北九州市消防ポンプ操法大会
日之出水道機器 佐賀工場視察
- 29日 9月議会勉強会
- 30日 若松区PCB処理工場 視察

<9月>

- 1日 9月議会開会・勉強会
民主党福岡9区規約改正委員会
- 2日 大阪府警・大阪府窓口業務市場化テスト視察
- 3日 環境のことを話そう・語ろう
環境市民活動セミナー
- 4日 連合北九州 黒崎駅清掃活動
- 7日 会派団会議
- 8日 本会議
- 9日 本会議
- 12日 本会議
- 13日 本会議
- 14日 決算特別委員会
- 15日 決算特別委員会
- 16日 決算特別委員会
- 17日 民主党福岡9区常任幹事会
- 18日 地元地域グラウンドゴルフ大会
- 20日 決算特別委員会
- 22日 決算特別委員会 市長質疑
- 25日 第60回全九州ろうあ者大会
- 26日 決算特別委員会
- 27日 本会議
- 28日 総務財政委員会
- 29日 総務財政委員会
- 30日 本会議 9月議会最終日

◎この市政レポートは、市議会各派に交付される政務調査費と後援会費を用いて作成しています。

◎重複して送付されたり、宛名変更がある場合は、お手数ですが大久保むが事務所までご一報ください。